
アグリサポート倶楽部会員向けの サービス等について

令和8年4月
公益社団法人日本農業法人協会



< 目次 >

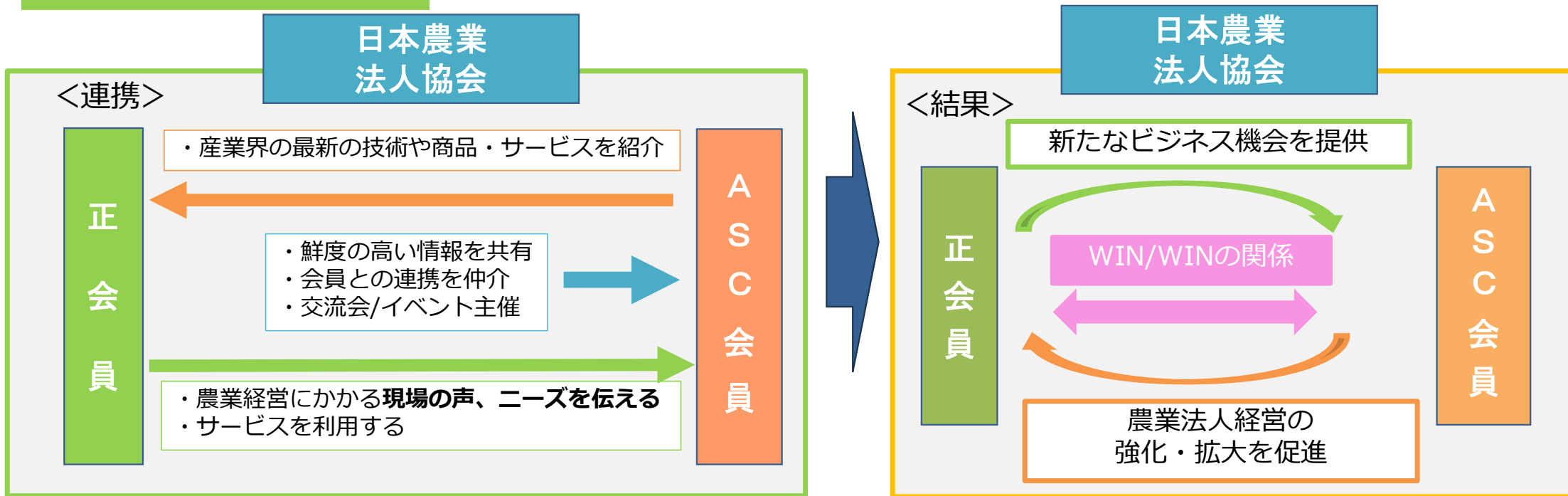
はじめに	1
I 日本農業法人協会の概要	3
II 政策提言・農業法人白書等	6
III 日本農業法人協会の活動	23
IV ASC会員の情報発信ツール	25
V ASC会員・正会員の交流機会	28
VI 各種サービスについて(まとめ)	31

はじめに

説明会の趣旨・目的

アグリサポート倶楽部（ASC）会員の皆様に、改めて当協会の取組みやサービスを紹介し積極的にご活用いただくことで、ASC会員と正会員との一層の連携促進・強化を図り**双方の事業発展（WIN/WINの関係性）を構築すること**

連携により目指す姿



■ アグリサポート倶楽部 各種サービス活用方法

「届ける」「交流する」「受け取る」ことのできる各種サービスを活用し、
全国の農業法人との新たなビジネス機会創出の場にしていただければ幸いです！！



(会員に直接)
届ける

- 耳より情報・個別便
- 農業情報おまとめ便



(会員と)
交流する

- ASC展示会
- 次世代農業サミット
- ファーマーズ&キッズフェスタ
- ブロック別交流会
- 農業者の個別紹介
- オンライン交流会
- 都道府県協会での活動



(情報を)
受け取る

- 情報紙「Fortis」
- 農業法人白書
- 実態調査統計表
- 各種オンラインセミナー
- 政策提言
- 「コスト高騰緊急アンケート」等、
各種アンケート調査結果

I. 日本農業法人協会の概要

日本農業法人協会 … 日本で唯一の全国的な農業法人のネットワーク組織

(名 称) 公益社団法人日本農業法人協会

(所在地) 東京都千代田区二番町 9 - 8 中央労働基準協会ビル 1 F

(設立日) 平成 1 1 年 6 月 2 8 日

(目 的) わが国農業経営の先駆者たる農業生産法人その他農業を営む法人の経営確立・発展のための調査研究、提案・提言、情報提供等の活動を進めることにより、わが国農業・農村の発展と国民生活の向上に寄与する

(会 員) 正会員（農業を主業とする経営体）：2,058

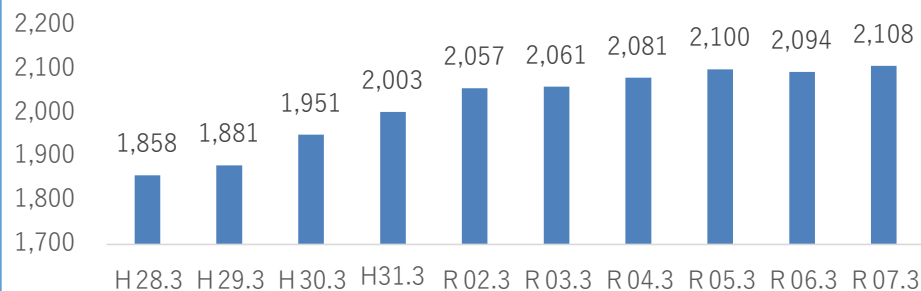
賛助会員：（一社）全国農業会議所、J A 全中、J A 全農、農林中央金庫、J A 共済連、

（一社）全国農業経営コンサルタント協会、（一社）日本フードサービス協会

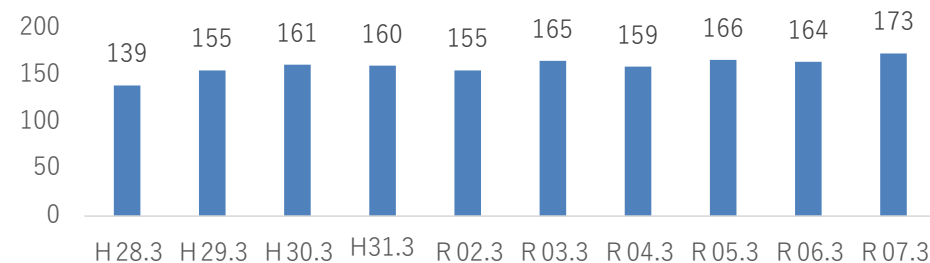
アグリサポート倶楽部会員（農外企業等）：170

（会員数は令和8年4月1日時点）

正会員数の推移



A S C 会員数の推移



公益社団法人日本農業法人協会
アグリサポート倶楽部 会員名簿

農機・農業資材メーカー等
 (株)愛華
 (株)アグリドック
 朝日アグリア(株)
 アサヒクオリティーアンドイノベーションズ(株)
 アリスタ ライフサイエンス(株)
 (株)井口
 石川(株)
 井関農機(株)
 イノチオアグリ(株)
 (株)イノベックス
 ヴィルモランみかど(株)
 (株)ウッドプラスチックテクノロジー
 SMC(株)
 エフエムシー・ケミカルズ(株)
 エム・エス・ケー農業機械(株)
 OATアグリオ(株)
 小野田化学工業(株)
 兼松アグリテック(株)
 株式会社エイトエアロック
 川瀬産業(株)
 協友アグリ(株)
 (株)クボタ
 クミアイ化学工業(株)
 小池化学(株)
 (株)コバヤシ
 コルテバ・アグリサイエンス日本(株)
 (株)サタケ
 ジェイカムアグリ(株)
 昭和ボックス(株)
 シンジェンタジャパン(株)
 (株)誠和
 セントラル化成(株)
 全農畜産サービス(株)
 (株)タカミヤ
 タキイ種苗(株)
 タキロンシーアイ(株)アグリ事業部
 晃栄化学工業(株)
 東海物産(株)

農機・農業資材メーカー等
 東罐興産(株)
 ナラサキ産業(株)
 日産化学(株)
 日東エフシー(株)
 日本石灰窒素工業会
 日本農業(株)
 (株)ニレコ
 ネボン(株)
 バシフィコ・エナジー(株)
 BASFジャパン(株)
 北興化学工業(株)
 三菱ケミカル(株)
 三菱商事アグリサービス(株)
 (株)安川電機
 ヤンマーアグリ(株)
 レンゴー(株)
 有人宇宙システム(株)
 三井化学クロップ&ライフソリューション(株)
 (株)ロブストス
 (株)ワイ・ビー・ケイ工業
人材サービス
 (株)アルプスアグリキャリア
 (株)グロップ
 (株)日本ワークプレイス
 (株)農協観光
 (株)フルキャスト
 (株)マリン通商
 (株)ミトラ
 YUIME(株)
 (株)Life Lab

情報通信
 (株)AGRI SMILE
 イーサポートリンク(株)
 (株)時事通信社
 ソフトバンク・テクノロジー(株)
 TOPPANエッジ(株)
 日本電信電話(株)
 (株)ハレックス
 (株)kikitori
 BIPROGY(株)
商社・物流・販売
 アグリペディア(株)
 (株)アグリ吉野家IS
 エア・ウォーター・メディカル(株)
 (株)Opex
 航空集配サービス(株)
 JA全農青果センター(株)
 島貿易(株)
 (株)商船三井
 全農グリーンリソース(株)
 全農物流(株)
 デリカフーズホールディングス(株)
 (株)福岡ソノリク
 (株)ベジコーブ
 三菱商事(株)
 ヤマト運輸(株)
 ユアキッチンサービス(株)
 ユービーアール(株)
 高橋物産(株)
出版・広告
 (株)アルファ
 (株)NHKプロモーション
 (株)グレイン・エス・ビー
 大日本印刷(株)
 (一社)農山漁村文化協会
 (株)ビジネスガイド社
 (株)ファームステッド

研究機関・団体等
 (特非)ITコーディネータ協会
 あおぞらHRラボ&コンサルティング株式会社
 (一社)アグリフューチャージャパン
 (一社)再生可能エネルギー長期安定電源推進協会
 (一社)食農共創プロデューサーズ
 (一社)全国農業経営専門会計人協会
 (一社)全国肥料商連合会
 全国米穀販売事業共済協同組合
 中央労働災害防止協会
 国立大学法人 東京農工大学
 (株)ニッセイ基礎研究所
 (一社)日本貨物検査協会
 (一財)日本GAP協会
 (一社)日本食農連携機構
 日本生活協同組合連合会
 (一財)日本土壌協会
 (一社)日本農業機械化協会
 (一社)日本能率協会
 (一社)農業経営支援センター
 (株)農林中金総合研究所
金融・保険・リース
 アグリビジネス投資育成(株)
 アメリカン・エクスプレス・インターナショナル、インコーポレイテッド
 イフコ・ジャパン(株)
 MHCTリプルウィン(株)
 共栄火災海上保険(株)
 (株)三幸社
 JA三井リース(株)
 損害保険ジャパン(株)
 東京海上日動火災保険(株)
 (株)堂島取引所
 日建リース工業(株)
 (株)日本包装リース
 (株)農林水産広報センター
 (一社)ファイナンシャルアシスト
 (株)みずほ銀行
 三井住友海上火災保険(株)

金融・保険・リース
 三井住友ファイナンス&リース(株)
 (株)三菱UFJ銀行
 (株)MISO SOUP
 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
 (株)メロス
コンサル・サービス
 (株)Aoba-BBT
 アグリコネク(株)
 アグリビジネス・ソリューションズ(株)
 (株)ACWパートナーズ
 (株)ぐるなび
 (株)クロスエイジ
 (株)国際開発センター
 SucSeed(株)
 サンブラウ(株)
 (株)食農夢創
 ソリマチ(株)
 (株)都築経営研究所
 有限責任監査法人トーマツ
 野村證券(株)フード&アグリビジネス・コンサルティング部
 (株)日本能率協会コンサルティング
 百農社ジャパン(同)
 (株)フェイス
 (株)foredge
その他
 RX Japan(株)
 SBプレイヤーズ(株)
 カゴメ(株)
 クレアトゥラ(株)
 西村あさひ法律事務所
 (株)NEXYZ.
 (株)NOPPO
 松田綜合法律事務所
 JTB旅運事業株式会社
 順不同
 (170社 R8.4.1現在)

【日本農業法人協会】第13期役員一覧・組織図

公益社団法人日本農業法人協会

第14期理事・監事名簿

令和7年6月19日

【理事】

会長	齋藤 一志	[山形県 (株) まいすたあ 代表取締役]
副会長	前田 清浩	[佐賀県 (有) 伊万里グリーンファーム 代表取締役会長]
副会長	井村 辰二郎	[石川県 アジア農業 (株) 代表取締役]
副会長	臼倉 正浩	[埼玉県 (株) しゅん・あぐり 代表取締役]
副会長	川口谷 仁	[北海道 (株) Kalm 角山 代表取締役]
	照井 勝也	[岩手県 (株) 西部開発農産 代表取締役]
	黛 佐予	[群馬県 (有) 妙義ナバファーム 取締役]
	萩原 貴司	[山梨県 (有) 萩原フルーツ農園 代表取締役]
	江崎 雅教	[岐阜県 (株) 大雅 代表取締役]
	嶋崎 田鶴子	[長野県 (有) トップリバー 取締役会長]
	八木 隆博	[兵庫県 (株) 博農 代表取締役]
	福田 陽一	[山口県 (有) 福田フルーツパーク 代表取締役]
	榎山 直樹	[徳島県 (有) 榎山農園 代表取締役]
	坂上 隆	[鹿児島県 (株) さかうえ 代表取締役]
	青山 浩子	[新潟食料農業大学 教授]
	植田 智己	[(一社) 全国農業会議所 事務局長]
	合瀬 宏毅	[(一社) アグリフューチャー・ジャパン 代表理事理事長]
	加藤 一隆	[(一社) 日本フードサービス協会 顧問]
	日比 健	[全国農業協同組合連合会 常務理事]
	藤間 則和	[(一社) 全国農業協同組合中央会 常務理事]
専務理事	紺野 和成	[(公社) 日本農業法人協会 (常勤)]
常務理事	東郷 恵太	[(一社) 全国農業会議所 (常勤)]
	山中 邦夫	[(公社) 日本農業法人協会 事務局長兼務 (常勤)]

【監事】

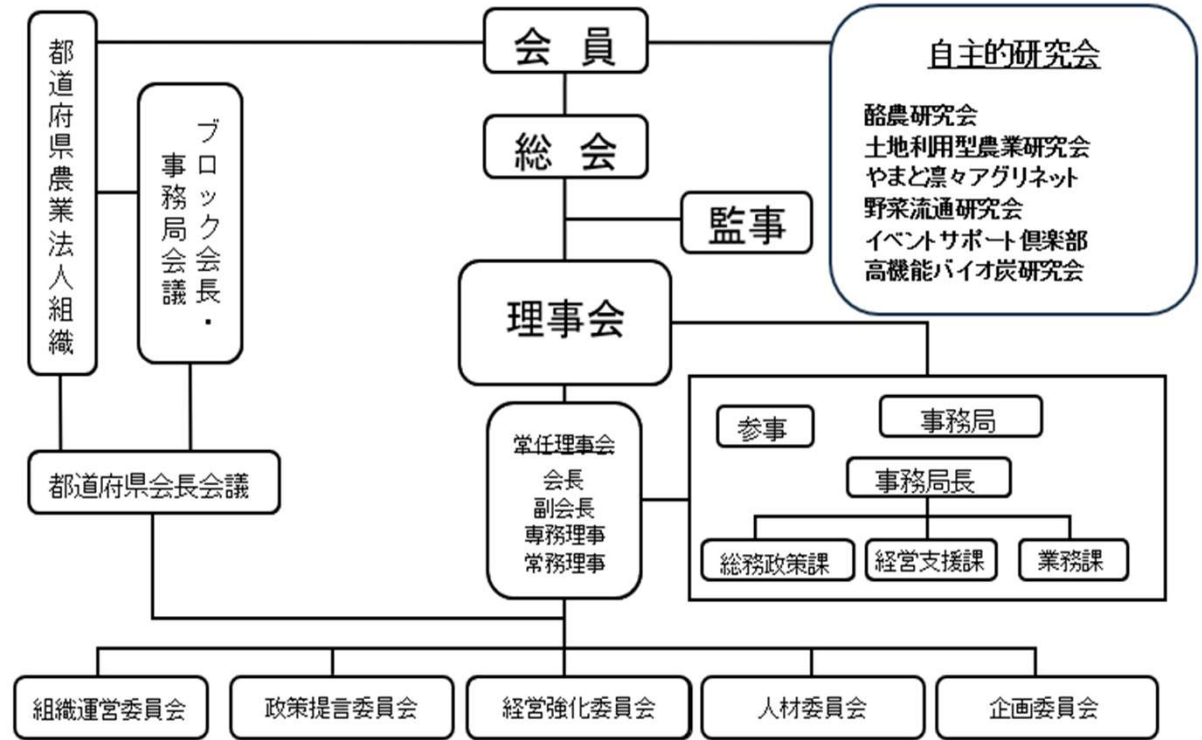
	松村 昭寿	[群馬県 (有) あずま産直なっと 代表取締役]
	永井 健吾	[新潟県 神谷生産組合 (株) 取締役]
	渡辺 基成	[(一社) 全国農業経営コンサルタント協会 副会長]

(任期:2025年6月19日~2027年6月総会)

組織・機構図

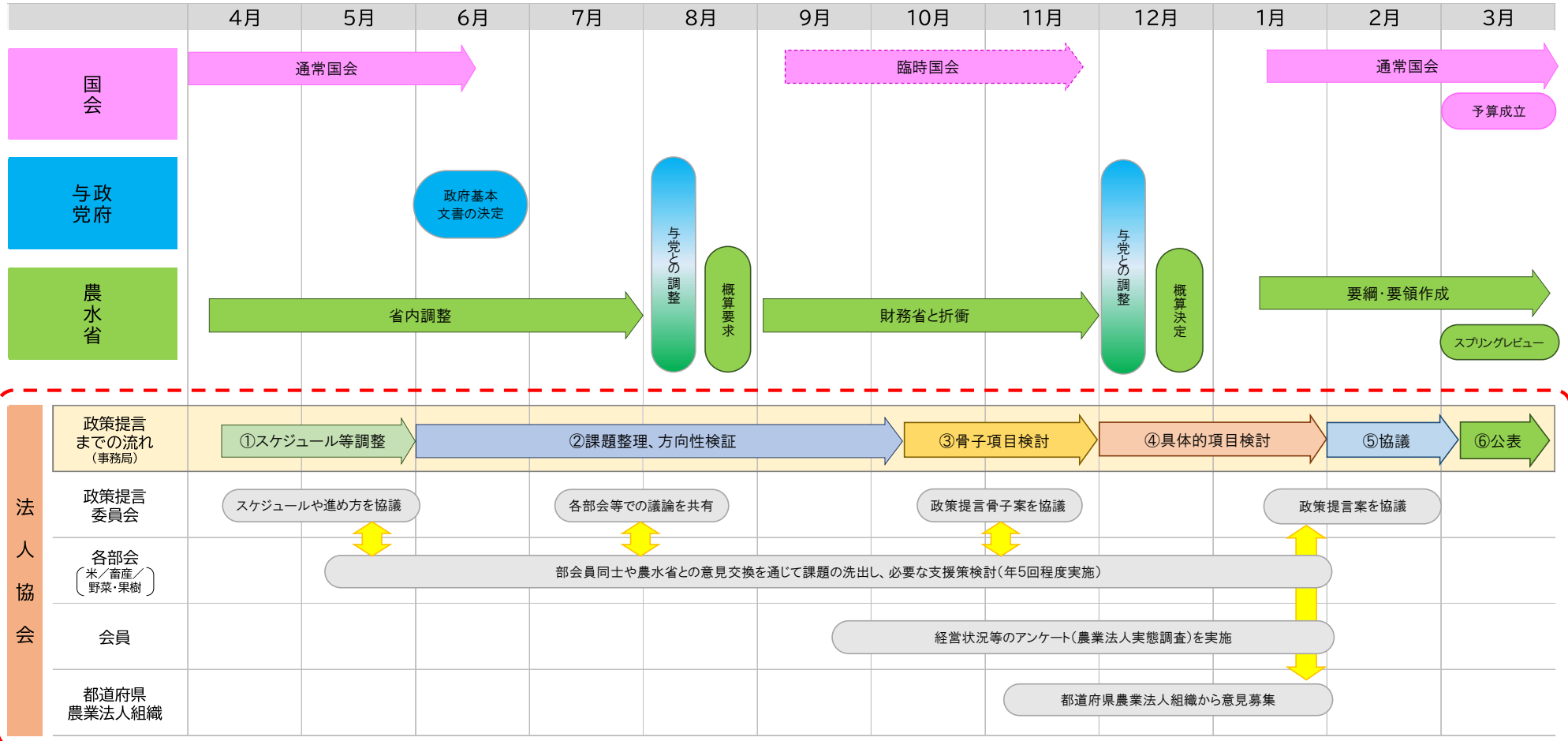
公益社団法人 日本農業法人協会

公益社団法人 日本農業法人協会 組織・機構



II. 政策提言・農業法人白書等

政策提言の流れについて



【当協会の主な活動】調査・政策提言活動

(会員意見等を集約し、毎年3月に骨太の政策提言を行っています)

2026年農業経営者からの提言書(概要)

～物価高騰を乗り越え、強靱な農業経営の実現と食料の安定供給に向けて～

2026年3月12日(木) 公益社団法人 日本農業法人協会

目指すべき姿

- ◆ 会員は我が国の農業経営のリーダーとして、自己責任と創意工夫で自立した経営を確立し、不断の改革改善により世界に通用する強靱な経営を続け、日本農業の発展に貢献していく。
- ◆ 我々は農業界の公益社団法人として、農業政策の展開方向を踏まえた政治、行政及び国民に向けた積極的な提言により、不合理な規制を排除し農業経営の自由度を向上させ、安全・安心な国産農産物の生産と国民への安定的な食料供給の責めを果たし、我が国経済及び地域社会の発展に貢献する。

法人経営の重点課題

食糧法の改正・水活の見直し／農地の分散／物価の高騰／コスト増加要因となる各種規制／適正価格の実現／輸出の拡大／人材の不足／収入安定対策

政策提言の主な事項

1. 農地の有効活用等による生産性の向上

- 農地集約により生産性を向上させるため、農地バンク及び市町村等に対する支援を強化すること。
- 地域計画に位置付けられた者が自身の農業経営の将来像を描ける地域計画への見直しを早急に進めること。
- 機動性の高い農地の基盤整備事業を推進するとともに、ゾーニングの徹底により農地を保全すること。
- 経営所得安定対策は、生産性向上の観点から適地適作を前提とし、農地の地目にかかわらず、品質や収量に応じたインセンティブを与える仕組みとすること。

2. 物価高騰に対応した適正価格の実現

- 農畜産物の取引において、再生産を可能とする合理的な農畜産物の価格形成がなされるよう、加工・流通構造の改革を強力に推進すること。
- 農業用施設の設置コスト増加の要因に繋がる各種規制等を順次、抜本的かつ速やかに見直すとともに、その取扱いを周知徹底すること。
- スマート農業の技術開発は実用的で低コストを目指し、野菜や果樹等の研究・開発を強力に推進するとともに、活用のための手続を簡素化すること。

3. 輸出拡大等サプライチェーンへの支援

- 国内需要を上回って生産可能な農畜産物について輸出拡大に資する政策を推進するとともに、総合商社や全農等の大手輸出事業者が主体的かつ積極的に輸出に取り組むよう強力に働きかけること。

4. 農業人材等の確保・育成

- 農業が新規学卒者をはじめ女性や外国人等の多様な人材からも選ばれる産業となるよう、労働関係の法制度・手続等の改善をはじめ、労働環境の整備・改善に繋がる政策を推進すること。

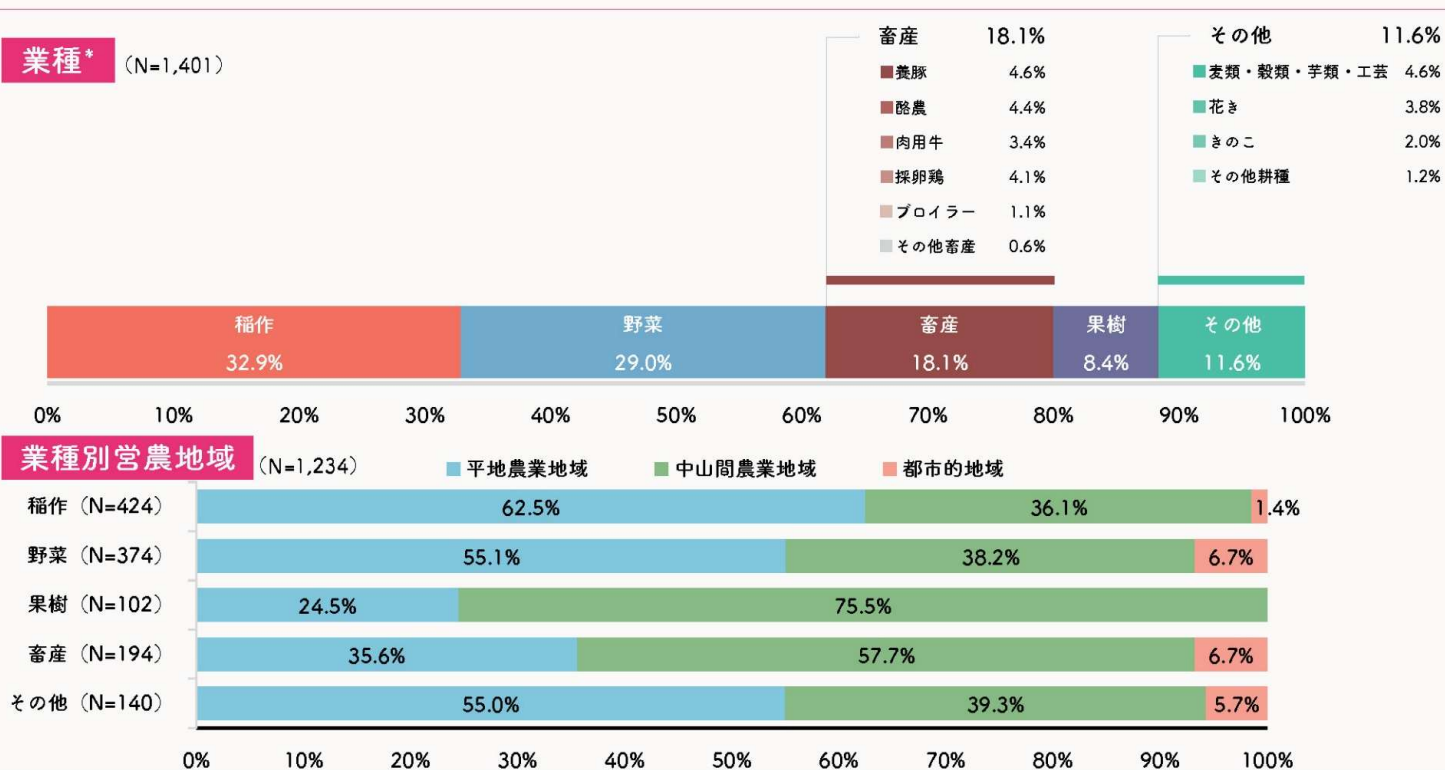
5. 持続可能な農業の実現

- 農業者が安心して経営できるよう、農業者のニーズや実態に即した経営安定対策の見直し・充実を図ること。
- 産学間連携の下、気候変動に耐え得る強い品種や農法等の研究開発の加速化・普及を推進すること。
- 家畜伝染病の水際対策を従来以上に強化するとともに、農業者の予防対策への財政的支援及び適切に獣医療が受けられる体制整備を推進すること。

業種・営農地域（2024農業法人白書抜粋）

1-2 業種・営農地域

- 業種では「稲作」が最も多く32.9%、次いで「野菜」が29.0%、「畜産」が18.1%。
- 営農地域は、稲作と野菜で「平地農業地域」が最も多く、果樹と畜産で「中山間農業地域」が最も多い。「都市的地域」の割合が最も高かったのは野菜と畜産でともに6.7%。

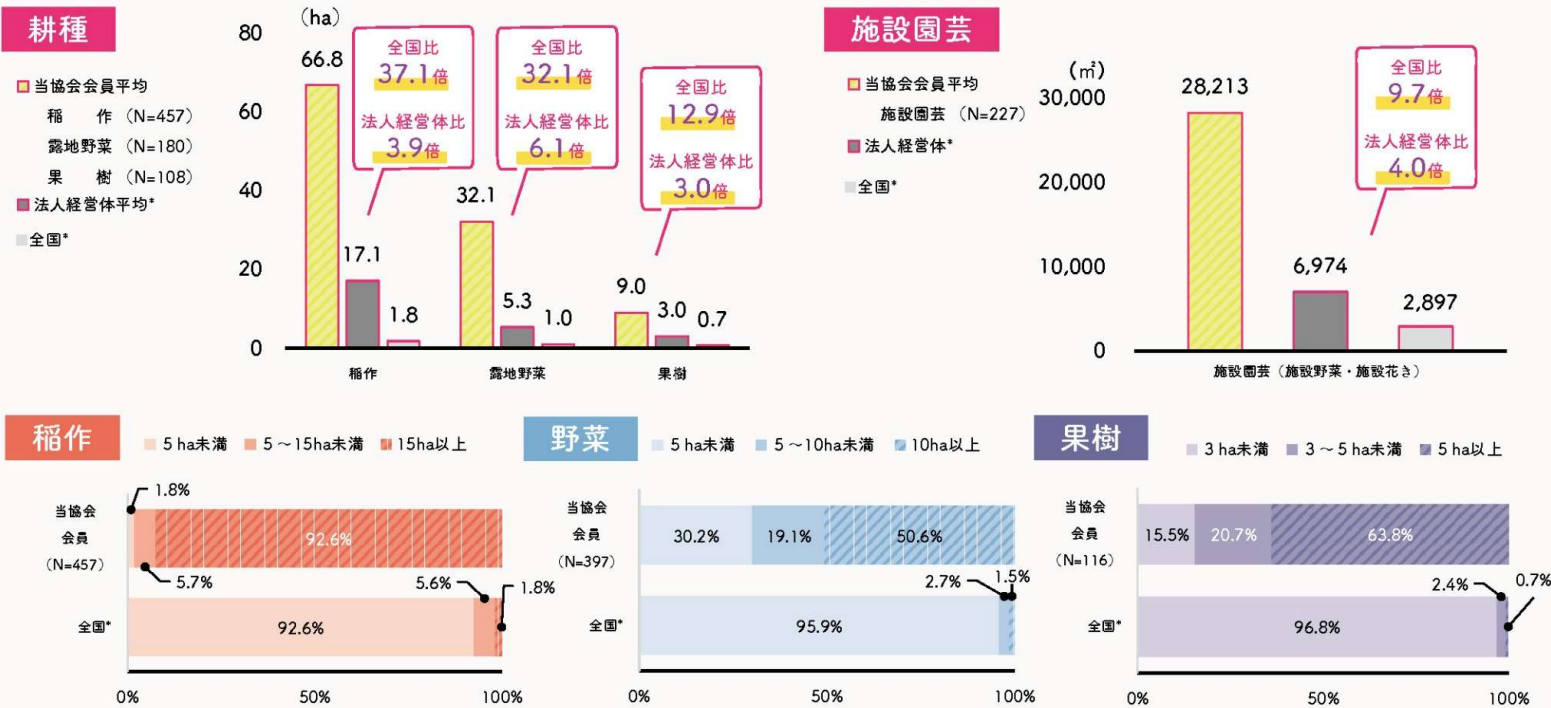


* 業種は主たる業種を集計

経営規模（土地利用型）（2024農業法人白書抜粋）

1-3 経営規模 土地利用型

- 全国平均と比べ、当協会会員の土地利用型の経営規模は「稲作」37.1倍、「露地野菜」32.1倍、「果樹」12.9倍、「施設園芸」9.7倍。
- 「稲作」を15ha以上耕作している経営体の割合は、全国平均では1.8%であるが当協会会員は92.6%となっており大規模経営が多い。



* 「2020年農林業センサス」（農林水産省）（<https://www.maff.go.jp/tokei/census/afc/2020/>）をもとに（公社）日本農業法人協会作成。（以下、「2020年農林業センサス」と表記）
【参考】「2020年農林業センサス」の農業経営体（全国）は107万6千経営体、うち法人経営体は3万1千経営体。

経営規模（畜産）（2024農業法人白書抜粋）

1-4 経営規模 畜産

- 全国平均と比べ、当協会会員の畜産の経営規模は、「肉用牛」45.6倍、「酪農」7.3倍、「養豚」6.2倍、「採卵鶏」3.7倍。
- 「肉用牛」を500頭以上飼育している経営体の割合は、全国平均では3.5%であるが当協会会員は68.1%となっており大規模経営が多い。

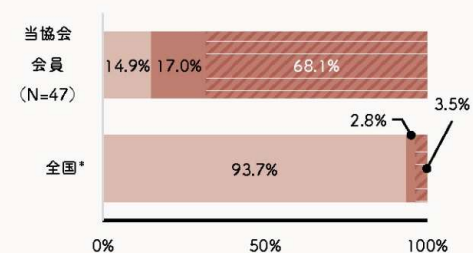
畜産

■ 当協会会員平均
 肉用牛
 （肥育・繁殖）（N=47）
 酪農（乳用牛）（N=59）
 養豚（母豚）（N=62）
 採卵鶏（N=57）
■ 法人経営体平均*
■ 全国*



肉用牛

■ 1～299頭
■ 300～499頭
■ 500頭以上



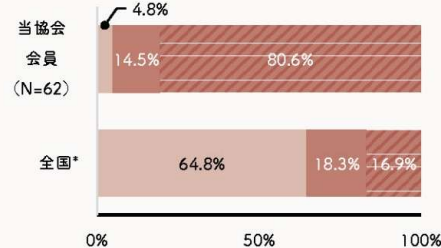
酪農

■ 1～199頭
■ 200～499頭
■ 500頭以上



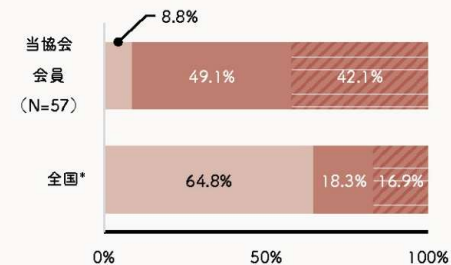
養豚

■ 1～1,999頭
■ 2,000～4,999頭
■ 5,000頭以上



採卵鶏

■ 1～9,999羽
■ 10,000～99,999羽
■ 100,000羽以上



* 2020年農林業センサス

売上規模 (2024農業法人白書抜粋)

1-7 売上規模

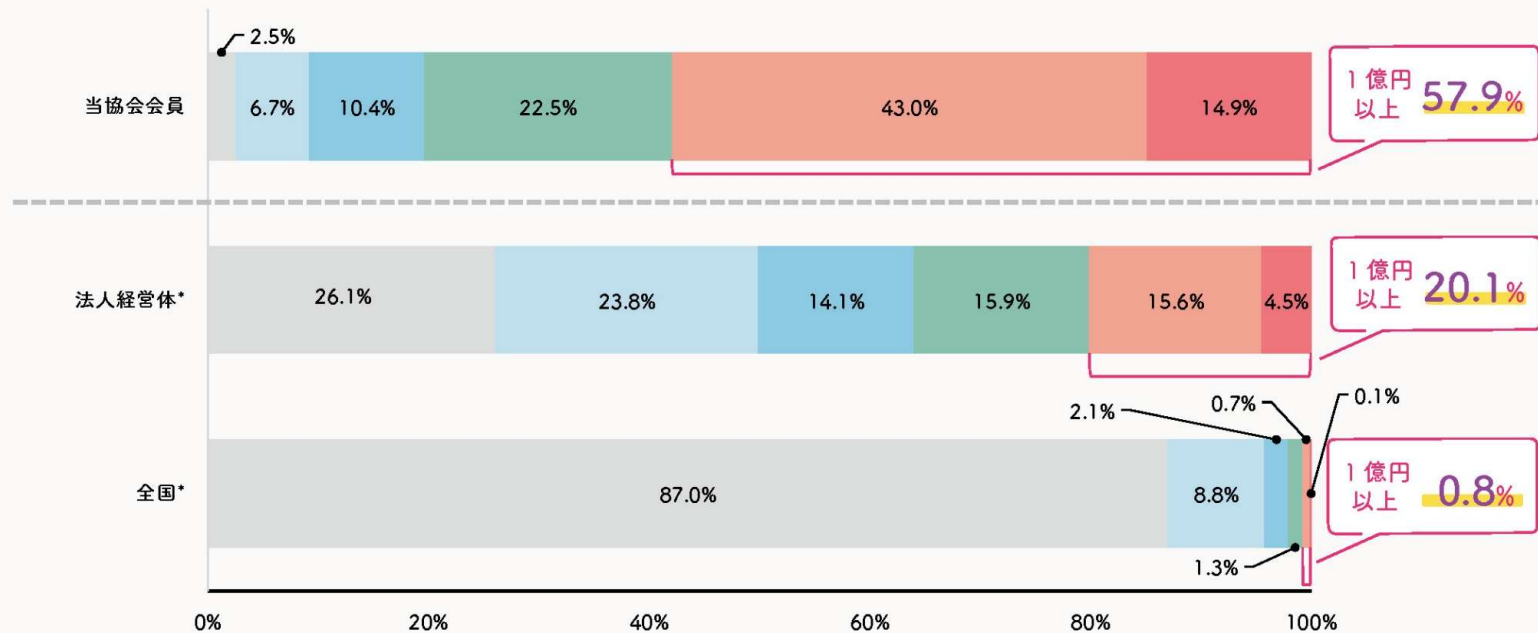
■全業種の平均売上高は4.0億円。売上高規模別では「1億円以上」の先は57.9%となっており、全国平均の0.8%を大きく上回る。

■一方、「1,000万円未満」の先は2.5%となっており、全国平均の87.0%と比べ僅少。

売上高規模別割合

(N=1,255)

■ ~1,000万円未満 ■ 1,000万円~3,000万円未満 ■ 3,000万円~5,000万円未満 ■ 5,000万円~1億円未満 ■ 1億円~5億円未満 ■ 5億円以上

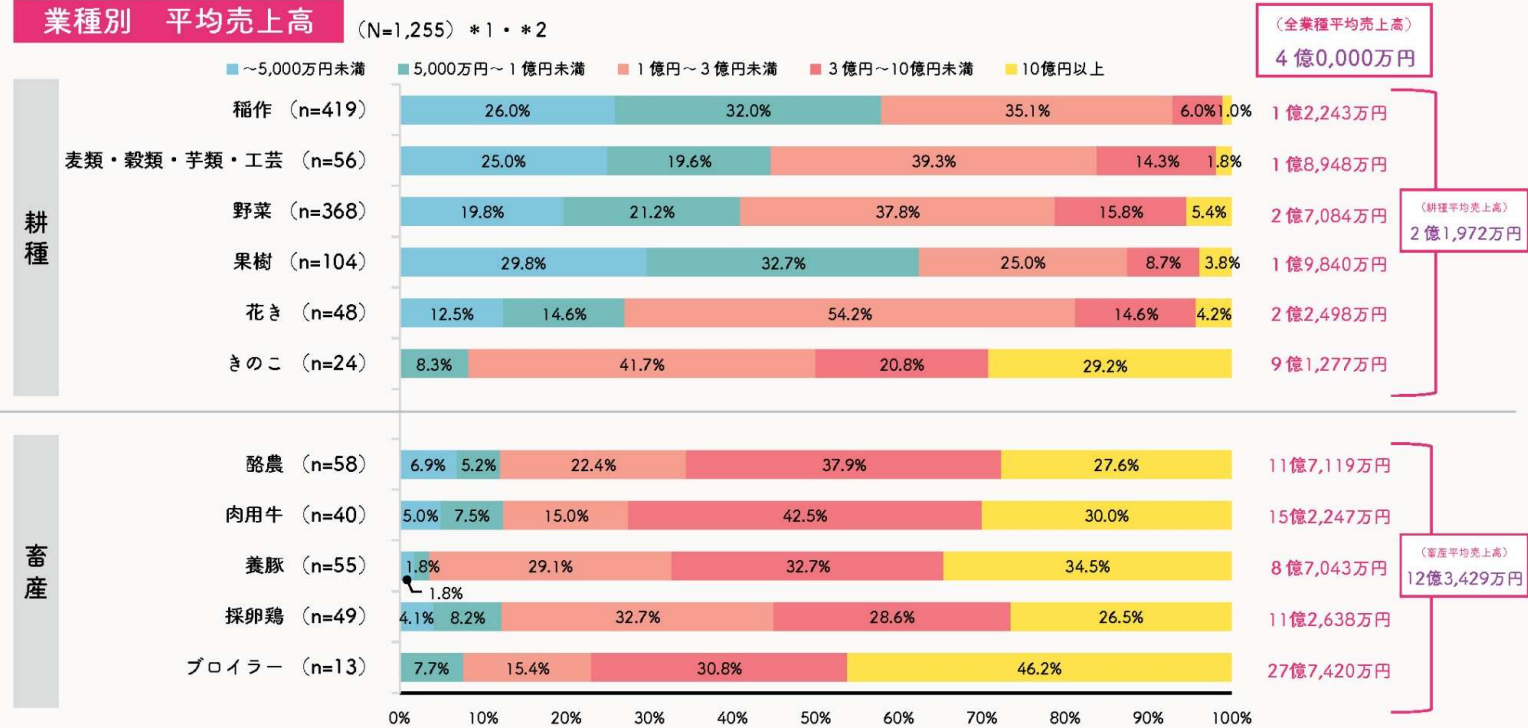


* 2020年農林業センサス

売上規模・業種別（2024農業法人白書抜粋）

1-8 売上の構成①（業種別）

■ 平均売上高は、全業種で4.0億円、耕種は2.2億円、畜産は12.3億円。



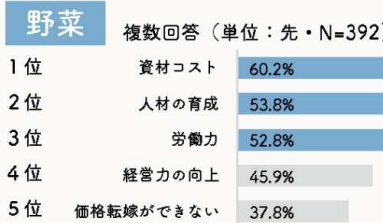
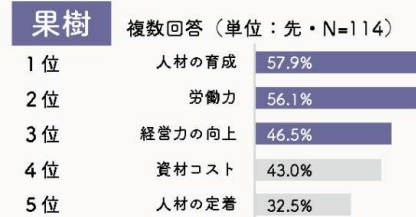
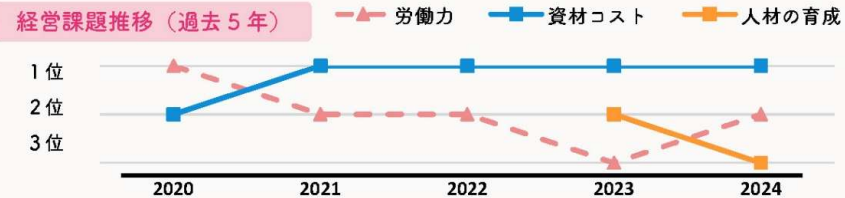
*1 業種は主たる業種を集計

*2 N=1,255のうち、「その他耕種」「その他畜産」の計21は省略

現在の経営課題（2024農業法人白書抜粋）

2-1 現在の経営課題

- 現在、抱えている経営課題は、「資材コスト」が59.1%と最多。2023年の経営課題と比べると、「労働力」は2番目に上昇し、「人材の育成」と近似。
- 労働安全衛生法の規則改正により、令和6年4月1日から農作業事故防止に関する雇入時教育が義務付けられたが、「農作業安全対策」を経営課題とする先は9.6%で、昨年から1.8ポイントの僅増。



経営リスク（2024農業法人白書抜粋）

2-2 経営リスク

- 経営リスクは、「生産コストの上昇」「天候不順等による収量の不足」「労働力の不足」が多い。
- 経営リスクへの対策は「複数販路の確保」が最多。次いで「従業員の給与水準や福利厚生の改善」。
- 収入保険への加入状況は、売上規模が大きくなるほど「未加入」先の割合が多くなっている。
- 事業継続計画（BCP）の策定状況は6.4%で、昨年から0.5ポイントの微減。

経営リスク

複数回答（単位：先・N=1,248）



経営リスクへの対策

複数回答（単位：先・N=1,322）



売上規模別収入保険加入状況

(N=1,211)



事業継続計画（BCP）の策定状況



農業版BCPガイドライン



* (株)帝国データバンク「事業継続計画（BCP）に対する企業の意識調査」2024年6月

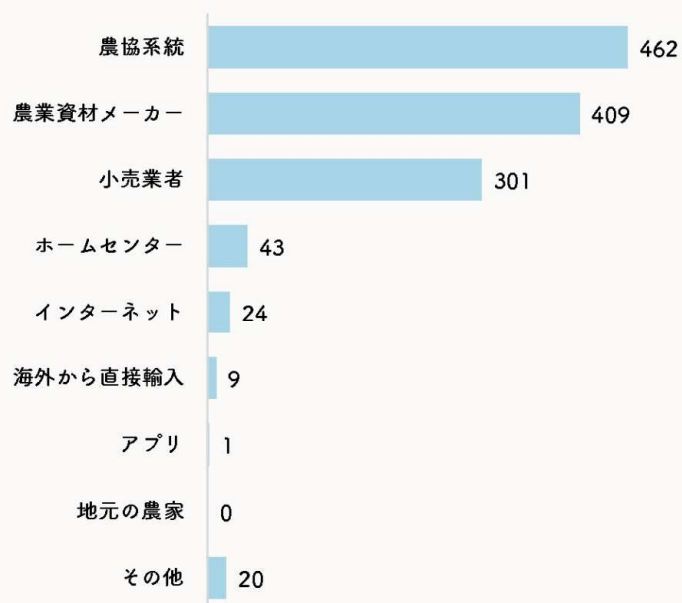
農業資材（2024農業法人白書抜粋）

2-3 農業資材（購入先・購入理由・情報源）

- 農業資材の購入先は、「農協系統」と「農業資材メーカー」が多く、次いで「小売業者」。
- 購入先の選定理由は、「価格」が最も多く、「購入先との付き合い」、「品質・性能」、「納期」と続く。

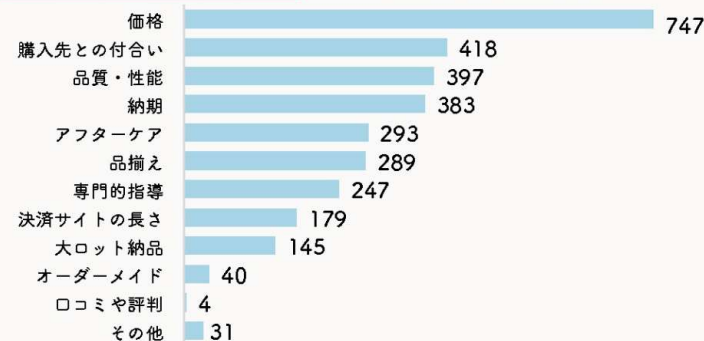
農業資材の購入先

（単位：先・N=1,269）



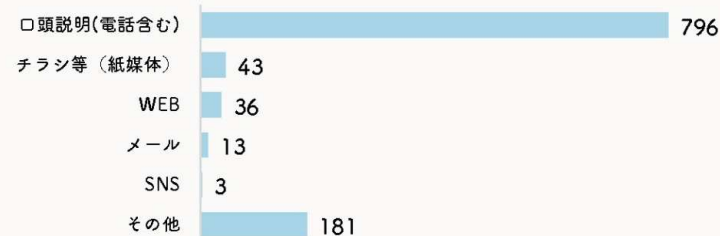
購入先の選定理由

複数回答（単位：先・N=1,296）



決め手となった情報源

複数回答（単位：先・N=1,072）



賃上げ（2024農業法人白書抜粋）

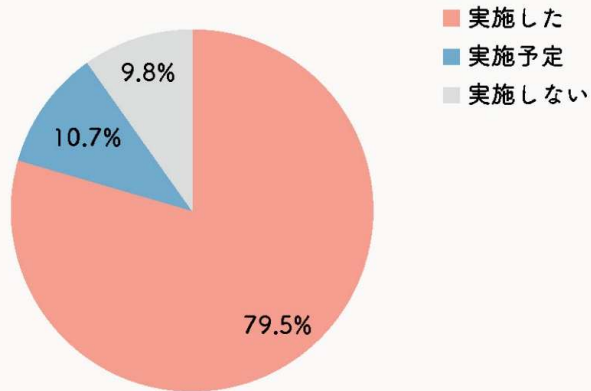
2-4 賃上げ①（実施状況）

NEW

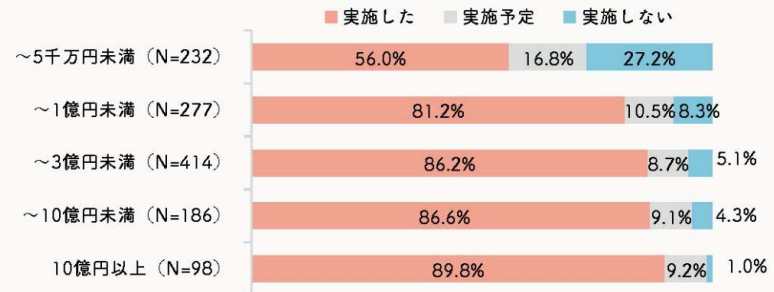
- 9割以上の先が賃上げを「実施した」又は「実施予定」と回答。
- 売上規模別では、売上規模が大きくなるにつれて「実施した」割合は高くなる傾向。業種別では、「野菜」の割合が最も高く85.6%。

2024年度賃上げ実施状況

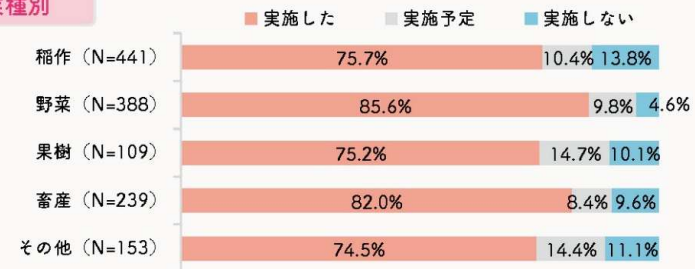
(N=1,330)



売上規模別



業種別



スマート農業技術の導入状況（2024農業法人白書抜粋）

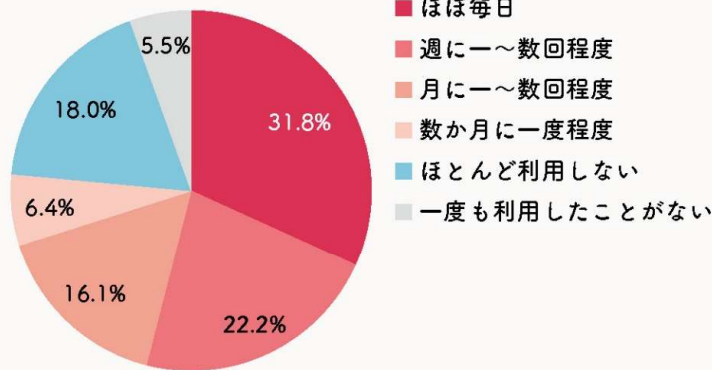
2-6 情報収集



- インターネット（アプリ含む）による農業経営に係る情報収集の頻度は「ほとんど利用しない」「一度も利用したことがない」が23.5%にのぼり、普及していない実態も伺える。
- 今後入手したい情報は「補助金・助成情報」が618先で最も多く、「商品の売買マッチング情報」や「専門家のお役立ち情報」は、入手したい情報と入手できている情報の乖離が大きい。

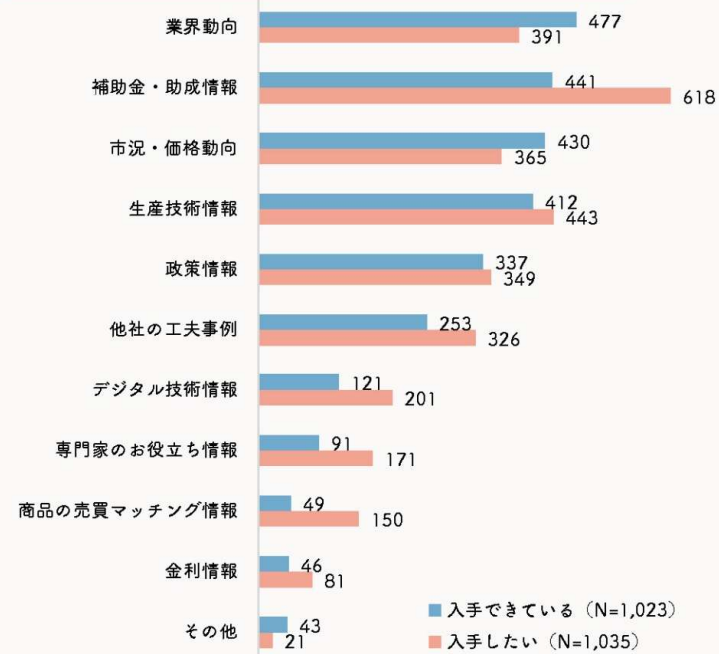
インターネットサイト（アプリ含む）による農業経営に係る情報収集の頻度

(N=1,301)



入手できている/入手したい 情報の内容

(複数回答)

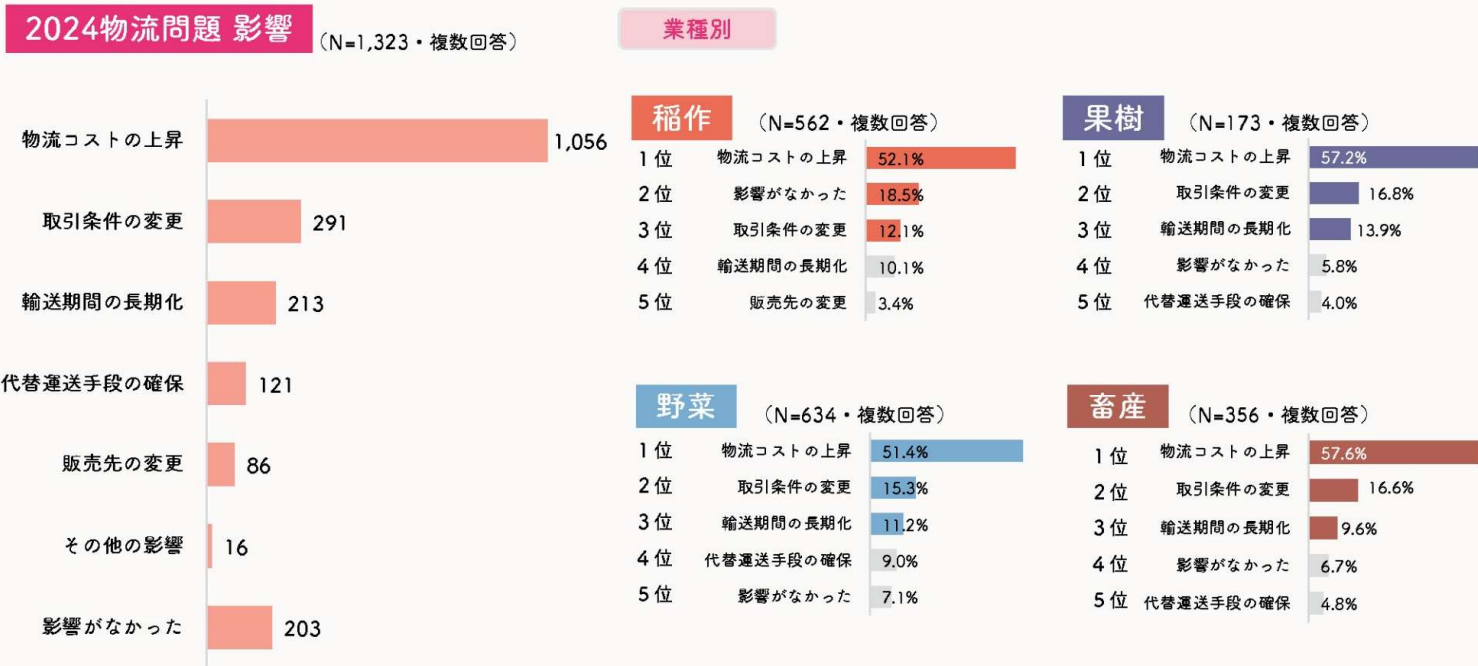


物流問題2024（2024農業法人白書抜粋）

2-9 物流問題2024①（影響）



- 物流問題2024による経営への影響は「物流コストの上昇」が1,056先で最も多い。
- 業種別では、いずれも「物流コストの上昇」による影響が過半を超える一方、「稲作」においては「影響がなかった」と回答した先が18.5%。



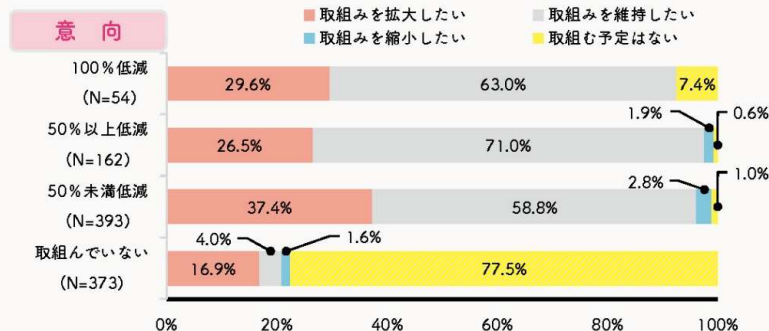
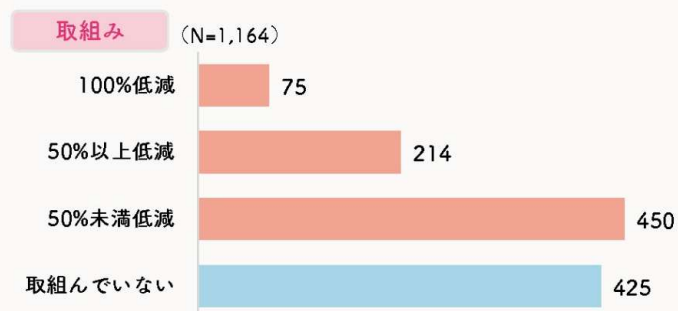
環境負荷低減（2024農業法人白書抜粋）

3-1 環境負荷低減（化学農薬・化学肥料）

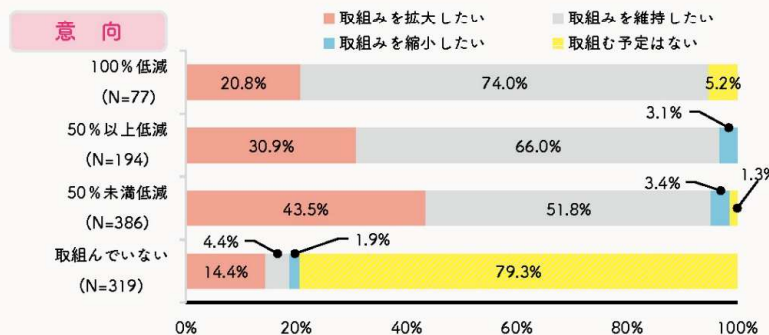
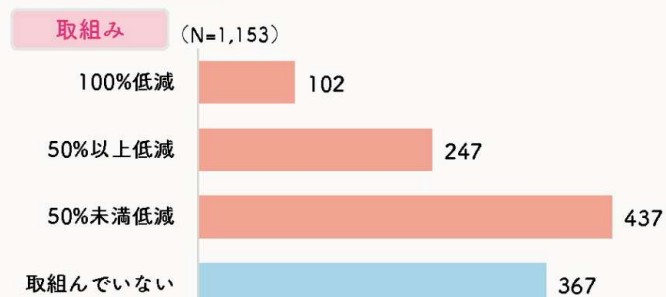


- 減化学農薬の取組みは「50%未満低減」が450先で最も多く、そのうち「取組みを拡大したい」意向を持つ先は37.4%。
- 減化学肥料の取組みは「50%未満低減」が437先で最も多く、そのうち「取組みを拡大したい」意向を持つ先は43.5%。

減化学農薬



減化学肥料



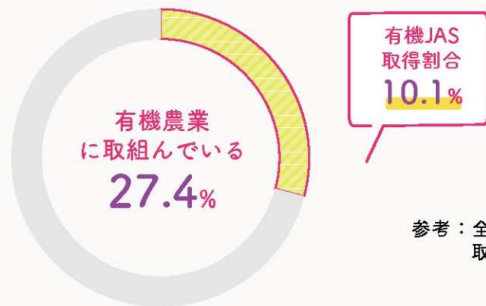
有機農業（2024農業法人白書抜粋）

3-3 有機農業・アニマルウェルフェア



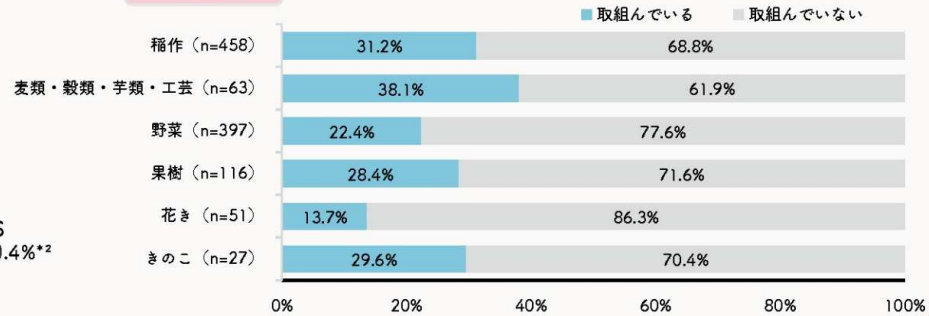
- 有機農業に「取組んでいる」の割合は27.4%。そのうち、有機JAS取得割合は10.1%。
- アニマルウェルフェアに「取組んでいる」先は66.9%。業種別では、「養豚」が80.0%で最も多い。

有機農業取組み (N=1,126)



参考：全国有機JAS
取得割合は0.4%*2

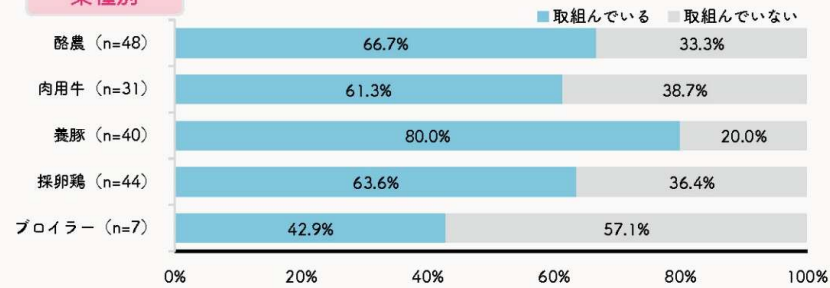
業種別



アニマルウェルフェアへの取組み (N=178)



業種別



*1 2020年農林業センサス
*2 農林水産省「個別有機認証事業者数（令和4年3月31日現在）」「令和5年農業構造動向調査」
をもとに（公社）日本農業法人協会作成

協賛企業（2024農業法人白書抜粋）

「2024年版農業法人白書」協賛企業^{*1}・^{*2}

私たちは
日本農業法人協会の活動を応援しています！



協友アグリ株式会社



クミアイ化学工業株式会社

*1 （公社）日本農業法人協会のアグリスポート倶楽部会員または賛助会員のうち、ご協賛いただいた企業・団体です。

*2 「2024年版農業法人白書」の内容は、全国農業法人実態調査の回答に基づき公表しており、協賛企業との直接的な関係はございません。2024年版 農業法人白書 （公社）日本農業法人協会 / 協賛企業

Ⅲ. 日本農業法人協会の活動

令和7年度事業計画 重点事項

- 農業法人等の経営課題解決
- 政策提言の実施
- 農業現場の理解に向けた取組強化
- 農業法人等のネットワークの強靱化

経営発展できる環境の整備

■ 提案・提言活動

政府や政党との意見交換や審議会、研究会等への会員の参加を通じて、日本農業法人協会の考えを国に伝えています。また、会員間の情報交換、専門的な意見集約と交流を促進するため自主的研究会の設立・運営を支援しています。

○ 農林水産省・政党等への政策提言・要請等の提出

⇒「2026年農業経営者からの提言書」の公表～物価高騰を乗り越え、強靱な農業経営の実現と食料の安定供給に向けて～(令和8年3月)、「食糧法改正及び新たな水田政策に関する提言」(令和8年2月)、「収入保険制度の改善に係る緊急要望」(令和7年8月)等の提出

詳細は当協会HPよりご覧ください ▶ https://hojin.or.jp/agri/i_teigen-html/

○ 自主的研究会活動

⇒野菜流通、酪農経営、イベントサポートクラブ、やまと凛々アグリネット、土地利用型農業研究会、高機能バイオ炭等の会員自主研究会の開催支援

農業法人の経営発展に資する情報の提供

■ 調査・情報活動

農業法人の実態や課題を把握し、自助努力のポイントや提言の対象となる政策の参考データ収集、会員の経営改善に役立つ情報提供を行っています。

○ 農業法人実態調査（ASC会員にも提供）

⇒農業法人の“いま”をコンパクトに取りまとめた「農業法人白書」をホームページで公表するとともに統計データを販売

○ 農業経営を強くする情報紙「Fortis」の配信（40回/年 ASC会員にも提供）

⇒農業情勢、税務、法務、外国人材、スマート農業などの情報を毎週木曜日に提供

○ 「耳より情報・個別便」の発信（ASC会員等からの情報発信、随時発行）→P25

⇒企業様の持つ農業法人の経営発展に資する情報（商品・サービス・イベント等）を全国の農業法人会員へスピーディに提供

○ 「農業情報おまとめ便」の発信（ASC会員等からの情報発信、定期発行）→P26

⇒年2回（8月・2月）、企業様の商品・サービスを法人協会に取りまとめてカタログとして全国の農業法人会員へ郵送

消費者・国民への理解促進

農業法人・法人協会の魅力向上

■ 啓発・普及活動

農業の楽しさや大切さ、食料の安定供給に農業法人が果たしている役割を広くPRし、ステータス向上に努めています。

○ ファーマーズ&キッズフェスタの開催（令和8年2月28日～3月1日代々木公園、令和8年3月6日～7日@代々木公園、）→P27

⇒日本全国のプロ農業者が集い「子どもと農業をつなぐ架け橋」として都会の子どもたちに元気な農業を発信するイベントを実施

会員同士のネットワークの構築

■ 研修・教育活動

セミナーや課題別・地域別の研修会や交流会を開催し、ASC会員と会員法人とのリレーション構築の場を提供しています。

○ 「ブロック別セミナー（農業法人経営情報交流会）」

⇒地域ブロック7カ所で研修・交流会を開催。ASC会員も参加可能

○ 「ASC展示会」（総会・セミナーのタイミングにて年2回開催）→P28

⇒年2回（6月・3月）、ASCと正会員の交流の場として開催。全国から最も多くの農業法人会員が集まる機会

○ 「次世代農業サミット」（R8年1月東京開催、R8年7月大分開催を予定）→P30

⇒次世代の農業経営者が集い先進的な農業経営の取組を発表。グループ討議を通じてネットワーク構築。ASC会員も参加可能

IV . A S C 会員の情報発信ツール

■ 耳寄り情報・個別便（随時発行）

ASC会員様の持つ農業法人の経営発展に資する情報を、**1社単独**で全国2,100社の有力な農業法人へ発信することができます！品目毎など、**情報提供対象の範囲を指定することも可能**です。

- ・個別に依頼を受け、案件毎に**随時発行**するため、「今」届けたい情報を“**簡単・スピーディー**”に発信することが可能です。
- ・業種・業態・品目・従業員数など、**希望する条件で送信先を指定**できます。

<詳細はこちら>

見積もり等お申込フォーム ▶ <https://wp.me/PdjGu1-Ub>
 チラシ ▶ <https://hojin.or.jp/wp-content/uploads/2022/03/kobetu.pdf>
 情報提供サービスについて ▶ <https://hojin.or.jp/agri/pay/>

<ご利用状況（令和7年度） 利用件数 25件>

項目	FAX・電子メール	郵送		
利用シーン	商品紹介 イベント告知、参加募集 等	カタログ配布 簡易なアンケート 等		
サービス利用料 抽出1条件・A4判 1頁あたりの単価	宛先数	賛助会員	ASC会員	非会員
	500先未満	44,000円	49,500円	55,000円
	500先以上1,000先未満	70,400円	79,200円	88,000円
	1,000先以上	132,000円	148,500円	165,000円
	○会員割引制度 非会員価格に対し、賛助会員：2割引適用、ASC会員：1割引適用 ○抽出条件 会員：追加料金なし、非会員：抽出条件2つ以上で2割相当利用料加算			
送信料	サービス利用料に含める	サービス利用料+郵送実費		
送信までの目安	申込みは随時受付 原稿確定から3~5営業日程度	申込みは随時受付 原稿確定から2週間程度		

ご利用企業様業種	掲載(提供情報)概要
肥料・農薬、農業機械、資材メーカー	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品のお試しキャンペーン(地区限定) ・オンラインストア登録キャンペーン ・小型高機能選果機商品紹介(作物限定) ・OLスマート農機フェアご案内 ・オンラインモール開設キャンペーン ・新型冷凍・冷蔵自動販売機
経営コンサル	<ul style="list-style-type: none"> ・人材派遣サービスの紹介 ・各省庁公募事業の案内 ・コメのコスト等に関するアンケート ・各種省庁委託事業アンケート ・業務用米プロジェクト(セミナー&交流会)のご案内 ・JGAP審査割引キャンペーン
独立行政法人等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種補助事業のご案内

■ 農業情報おまとめ便（年2回発行：夏号・冬号）

ASC会員様の持つ農業法人の経営発展に資する情報を、当協会が年に2回取りまとめ、「おまとめ情報便」としてカタログ形式で全国2,100社の農業法人へ一括配送いたします。

・ 法人協会からの必要情報と合わせて送るため、会員法人にしっかりとご確認いただけます。

・ 複数社まとめての発送のため、個別便と比較して低コストにサービスをご利用いただけます。

<料金表（郵送費含む）>

掲載仕様 カラー	A4表裏	A3二つ折 (A4,4P)	冊子タイプ① (A4,8P)	冊子タイプ② (A4,12P)
会員	110,000円	165,000円	198,000円	264,000円
非会員	143,000円	214,500円	250,800円	330,000円

ご参考：掲載情報（表紙）

受け手がカタログとして閲覧・保存できるよう、表紙には掲載ジャンル毎に企業名・概要を記載して目次を作成のうえ、上質な厚紙に両面カラー印刷して発送します。



<詳細はこちら>

チラシ ▶ <https://hojin.or.jp/wp-content/uploads/2022/03/omatome.pdf>
 情報提供サービスについて ▶ <https://hojin.or.jp/agri/pay/>

<会員法人アンケート> 企業から情報提供受けたい内容

業種	内容
肥料 農薬 資材	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 農薬の使用規制の情報、新規登録適用拡大などの情報 ➢ ジェネリック農薬について ➢ 肥料：有機JAS適合等、種：新品種、珍しい品種等 ➢ 資材：効率化、労働環境改善等 ➢ 産直で固定価格により販売しているが、資材、物流費が高騰しているため、コスト削減について ➢ 農薬・肥料の種類と効果、使用方法 ➢ 農薬・肥料の天候、土壌条件に適合する使用方法
販売・商社	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 生産者－加工業者－販売業者との連携、商談情報 ➢ 販売・商社が求めている商品、期待する商品
経営支援	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人材育成と投資資金について ➢ 販売広告手段としてのITの活用について ➢ 労務管理について ➢ GAP管理や経営管理などに対するクラウドサービス
リース	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 機械リースについて
人材	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人材不足・確保への対応について

ファーマーズ&キッズフェスタ

都心の消費者・子どもたちと農林水産業をつなぎ、子どもたちに農業の魅力と楽しさを発信。
未来の懸け橋となることを目指した、体験型イベント「ファーマーズ&キッズフェスタ」

ファーマーズ&キッズフェスタ2026

○開催日時：2026年2月28日(土)・3月1日(日) 10:00~16:00

○場所：代々木公園 イベント広場

出展概要

- ◇出展者数 72 (農業体験含む、前回56)
- ◇出展ブース数 97 (キッチンカー含む、前回83)
- ◇ステージコンテンツ数 6 (延べステージ回数 10)
- ◇その他 大型農機展示・乗車体験、SDGs企画、能登半島地震被災地支援の取組、収穫体験・牛の模型で乳絞り体験等の各種ワークショップの実施

天候

- ◇2026年2月28日(土) 天気：晴れ 最高気温：21.7℃
- ◇2026年3月1日(日) 天気：晴れ 最高気温：19.0℃

来場者数

- ◇2026年2月28日(土) 19,500人
 - ◇2026年3月1日(日) 26,100人
- 2日間合計 45,600人

「ファーマーズ&キッズフェスタ2027」開催概要

日時：2027年3月6日(土)～3月7日(日) 10:00～16:00 (雨天決行)

場所：代々木公園(東京都渋谷区) イベント広場

主催：公益社団法人日本農業法人協会

運営：ファーマーズ&キッズフェスタ実行委員会 制作：NHKプロモーション

入場料：無料 想定来場者数：1日あたり約2万人

イベントサイトでは、リアルイベントのお知らせを行うとともに、会員商品が購入できるサイトを紹介する「農業者SHOP」、農業法人やASC企業が行う農業・食育に関する動画を紹介する「農業者movie」を掲載中！



**ファーマーズ&
キッズフェスタ**

イベントサイト：<https://farmerskids.jp/>



イベントサイトでは、開催の様子を動画で紹介しています。
ぜひご覧ください！



V . A S C 会 員 ・ 正 会 員 の 交 流 機 会

■ アグリサポート倶楽部展示会（年2回、6月・3月開催）

企業様の商品・サービス等を直接会員へご紹介いただけるマッチングの場として活用いただけます。

全国から集う農業法人経営者と直接交流できる「ミニ展示会」として、夏季・春季セミナー（総会と併催）時に年2回開催しています。**協会イベントのなかで、全国から最も多くの農業法人会員が集まる機会です。**

本展示会は、企業様の商品紹介や情報発信の場になることはもちろん、農業法人経営者のニーズや抱える課題などの情報収集にも最適です。特に、みどりの食料システム戦略を進める新技術や資材、スマート農業を推進するサービス等には農業経営者の関心は高まっており、PRには絶好の機会になります。直近では以下の通り開催いたしました。

- 日時：令和8年3月12日（木）16時00分～17時00分
- 場所：KFC Hall & Rooms 3F「KFC Hall ホワイエ」
（東京都墨田区横網1-6-1 国際ファッションセンタービル）
- 出展企業：15社の申込
- 出展料等：ASC会員 40,000円（税込）、非会員 50,000円（税込）
※平机1台、椅子3脚、背面パネルの使用料込み
- **来場者：日本農業法人協会会員（農業法人経営者及び従業員等）120名程度**

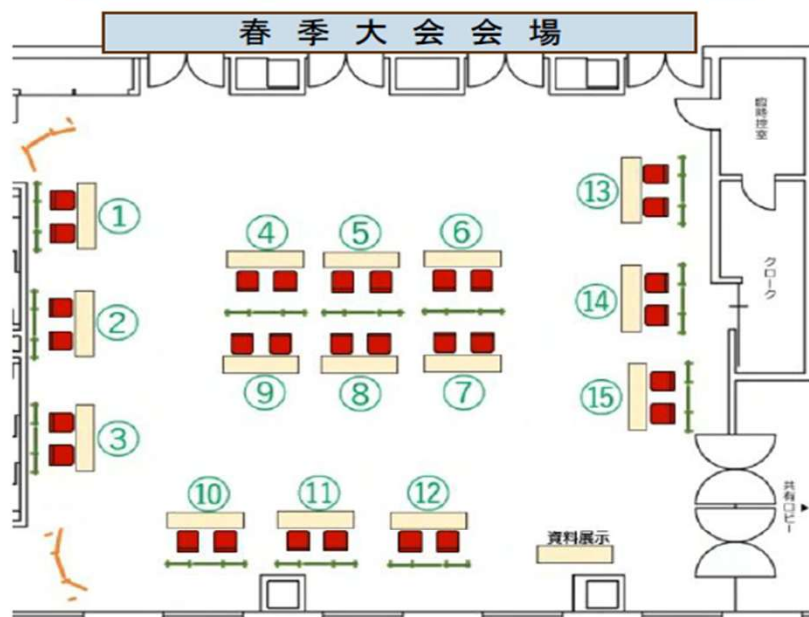
R8年度は**令和8年6月18日（木）開催、令和9年3月18日**
全国の有力な農業法人経営者が一堂に会するこの機会を是非ご活用ください！



**多くの農業法人経営者に、
直接に商品やサービスを
広めたい、宣伝したいとき
に最適な機会となります。**
会員と直接名刺交換し、
リレーションをつくって
いただくことができます。

アグリサポート倶楽部展示会 令和8年3月開催内容

3月12日(木)16:00~17:00
KFCHall「ホワイエ」



農業法人の応援団「アグリサポート倶楽部会員」や「賛助会員」各社より、展示会形式で農業経営に資する最新の情報やシステム、サービス、商品をご紹介します。

今回の開催では15ブースで様々な業種から多数のご出展をいただきます。

ブース	法人名	業種	ご出展内容
①	晃栄化学工業株式会社	肥料・農業	天候や成長に合わせた適期管理を支える、高吸収な葉面散布剤をご提案。大規模栽培でも導入しやすい独自の技術で、品質の安定化と作業の効率化を両立します。
②	株式会社日本包装リース	金融・保険	包装に関連する有益情報をご案内いたします。
③	クミアイ化学工業株式会社	肥料・農業	防除の省力化、草刈り作業の労力軽減、高温障害対策などをご紹介します。雑草・病虫害防除でお困りの方は是非お立ち寄りください。
④	SMC株式会社 株式会社安川電機	システム・IT	協働ロボット・ロボット先端ハンド・ロボット真空パッド/バルブ・イチャック
⑤	協友アグリ株式会社	肥料・農業	農業のご案内
⑥	株式会社TOWING	農業資材	高機能バイオ炭「宙炭」のご紹介です。土壌の健康を向上させ、有機転換を促します。さらに、農地への炭素固定を通じて温室効果ガスの削減にも貢献します。
⑦	株式会社サキモト	肥料・農業	ミネラル67の特徴や事例紹介。品質・収量の向上や猛暑対策の資材としてぜひご活用ください。
⑧	株式会社アグリメディア	人材採用支援	農業専門求人サイトあぐりナビや、合同説明会イベントの開催など、幅広く人材採用の課題解決を行っております。
⑨	一般社団法人日本油料検定協会 認証事業部	JGAP認証機関	JGAPの取得を確かな未来への一歩に。あなたの農場に丁寧に向き合うJGAP認証機関です
⑩	全国農業協同組合連合会	商社・卸	営農管理システムZ-GIS・ザルビオフィールドマネージャーの紹介、キャンペーン情報の告知
⑪	株式会社ベジコープ	人材派遣業	外国人材派遣のご案内
⑫	ウォーターセル株式会社	システム・IT	アグリノート並びにアグリノート米市場のサービス紹介
⑬	株式会社サタケ	システム・IT, 農業資材	サタケの栽培支援システム KOMECTのご紹介
⑭	J A三井リース株式会社	金融・保険	農業お役立ち総合情報Webサイト『あぐりサポートねっと』
⑮	株式会社フェイガー	コンサル・サポート	農業分野でご活用いただけるJ-クレジット制度についてご案内させていただきます。

次世代農業サミットについて

■次世代農業サミット (年2回、7月・1月開催)

若手農業者のネットワークの構築や次世代農業の創造・発展に向けた研修会を開催！

〈第16回大会〉2026/1/7(月)~8(火)

■場 所：東京都立産業貿易センター浜松町館

■テーマ：「農業者30万人時代、我々次世代は何をアップデートすべきか」

■参加者：190名 (うち農業者111名)

〈第17回大会〉2025/7/6(月)~7(火)

■場 所：大分県



▶facebook:<https://www.facebook.com/jisedai.nogyo.summit/>



参加者の声

- ・普段であれば聞きにくい質問にも、講演者が腹を割った回答をしてくれたのが良かったです！
- ・全国の経営者とディスカッションすることで、自身の農園での課題解決の糸口が見えました！

VI. ASC会員向け各種サービスについて（まとめ）

■令和7年度 ASC会員向けの主なサービス・イベント一覧

対面での交流や情報発信サービスを通して、ASC会員と正会員の一層の連携促進・強化を図って参ります。
サービスの活用方法等についてお悩みの際は、お気軽にご相談ください！

募集開始（予定）	募集終了（予定）	開催・実施日	内 容
4月下旬	6月上旬	6/18（木）	ASC展示会（総会・夏季セミナー）
5月下旬	6月中～下旬	7/6（月）～7（火）	第17回次世代農業サミット 参加・広告協賛
5月下旬	7月中旬	8月中旬発送	おまとめ便夏号
8月上旬	11月上旬	3/6（土） ～3/7（日）	ファーマーズ&キッズフェスタ
10月上旬	11月末	1/7（木） ～3/8（金）	第16回次世代農業サミット 参加・広告協賛
11月中旬	12月末	2月上旬発送	おまとめ便冬号
1月中	2月下旬	3/12（木）	ASC展示会（春季大会・セミナー）

■ 日本農業法人協会 SNSを通じた情報発信

Podcast 農業の社長ラジオ



▼視聴はこちらから！



■ 毎週配信 ■ スマホやPCで聴ける

ポイント1
全国の農業法人の経営紹介

ポイント2
いつでもどこでも聴ける

ポイント3
農業経営者の本音が聴ける

▶ 農業の社長ラジオとは？

- ✓ 農業界のトップランナーである会員が続々登場
- ✓ 創業から現在に至るまでの道のり・売上高の変遷・
何に成功して何に失敗したのか？など、農業経営の
秘訣を社長たちが赤裸々に語ってくれます。

Spotify、Apple Podcast、Google Podcastで配信中！

それぞれのアプリで「農業と社長ラジオ」と検索していただくと番組が出てきますので、番組のフォローをお願いします！

公式LINE アカウント



▼登録はこちら



■ 最新情報がスマホに届く

経営に役立つ情報を
LINEでお届け！

右のQRコードから「友だち追加」して
いただくと、自動で届きます。

- ✓ 当協会の活動情報
- ✓ 補助事業の情報
など

facebook



▼登録はこちら



■ 手軽に情報をGET

Facebookでも
情報発信中！

右のQRコードからアカウントのフォ
ローをお願いします。

- ✓ 当協会の活動情報
- ✓ 補助事業の情報 など

お問い合わせ先

ご案内に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

(公社) 日本農業法人協会 経営支援課

担当：上野、吉澤、岸本

(TEL) 03-6268-9500 (代表)、080-7222-2028 (上野直通)

(Mail) soudan@hojin.or.jp